

お客様への メッセージ

2013 5 月号

Contents

- ◎ 長期投資仲間へのメッセージ vol.74
『アベノミクスの第4の矢!長期投資マネー』
セゾン投信株式会社 代表取締役社長 中野晴啓
- ◎ ゲストからの応援メッセージ
『アベノミクスに沸く今こそ、ツミタテ王子の出番』
株式会社角川マガジズ
第4編集部/新書・書籍編集グループ所属
メールマガジン『Daily MONEY JAPAN』編集長 辻森康人氏
- ◎ セミナー・イベント情報
・「ゼロからはじめる投資の基本」
・ここが肝心!「セゾン投信のファンド講座」スタートアップ編
・世界経済の大転換!セゾン流長期運用と日本版ISAについて
- ◎ セゾン投信からのお知らせ
・日本版ISA(少額投資非課税制度)実施について
・メディア掲載情報
・買付・解約 受付不可日お知らせ
- ◎ お客様データ
・口座数&年代別構成比
・今月の注目記事:情報ポータル『投信まとなび』
イボットソン・ニュース【週刊マーケット・データ・シート】
- ◎ セゾン投信の素顔
メンバーが感じる日々の雑感

発行 セゾン投信株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第349号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
お問合せ先 セゾン投信お客様窓口 ☎03-3988-8668(受付時間9:00~17:00 土日祝、年末年始を除く)
<http://www.saison-am.co.jp>

■この資料は、セゾン投信の役職員ならびに関係者の方々から皆様へ、「メッセージ」の発信を目的として作成したものであり、勧誘を目的とした、セゾン投信の提供する「販売用資料」ではありません。また、金融商品取引法に基づく開示書類でもありません。したがって投資信託の購入、売却、あるいは保有を推奨するものではありません。■情報については、その正確性、信頼性、安全性等について保証するものではありません。過去のパフォーマンスは、将来のパフォーマンスを推測する指標ではありません。■この情報に関する一切の権利、義務は、その情報提供者(以下「情報提供者」)に帰属します。この情報の内容は、情報提供者の事由により変更されることがあります。■この情報は、閲覧者ご自身のみのもとし、転載、または、第三者への提供は禁止します。■このメッセージに掲載された情報に基づく判断については、閲覧者ご自身の責任の下に行うこととし、万一このメッセージの情報により、閲覧者が損失を被ったとしても、セゾン投信株式会社、ならびにその情報提供者はいかなる損害に対しても一切の責任を負うものではありません。■投資信託の取得を希望される方は、必ずセゾン投信が提供する投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認の上、ご自身でご判断ください。



長期投資仲間へのメッセージ Vol.74

「アベノミクスの第4の矢！長期投資マネー」

セゾン投信株式会社
代表取締役社長 中野晴啓アベノミクスが目指すもの

桜前線は日本列島の北国にまで到達しました。今年は4月下旬での季節外れな大雪などありましたが、ようやく日本全体が春らしくなってきました。GWは全般的に好天に恵まれ、いつもよりにこやかな顔で街中が溢れていたような気がします。これもアベノミクス効果でしょうか。

デフレ脱却を目指してガッチリとタッグが組まれた安倍内閣と黒田日銀の放った「第一の矢」たる異次元の金融政策は、円高の大幅修正と株式市場の急回復という戦果をまずは挙げました。

市場がこの6か月間に示して来た反応とは、日本経済のインフレへの体質転換に向けた期待の意思表示であり、これは世界中の投資マネーに日本の再生を想起させるに足る、十分な効果をもたらしたと言えるでしょう。

いよいよ国内の個人マネーも株式・不動産などリスク資産に向かって動き始めたとも巷間言われます。

第一の矢の戦果

日本は1990年代から経済成長がないという「失われた20年」を経て、その主因たるデフレ病を克服しようと、アベノミクスという本気のメッセージを世界に発信しました。ではデフレから脱却するとは具体的にどのように顕著な事象を示すのでしょうか。

まずはデフレ経済の原因とも言える円高基調の抜本的是正、これは既に現実のものとなっています。そして成長期待の復活が株式市場を押し上げます。失われた20年で一切の成長が否定されたかのように下落を続けた株価が、成長も織り込みながら価格水準を引き上げ始めているのを、今私たちは目の当りにしています。即ちインフレ経済への転換を先取りしているのが円安進行であり、株式・不動産など資産価格の上昇なのです。

お金の啓蟄

アベノミクスの「第二の矢」の財政投入。これは伝統的な公共投資が中心ですが、東北復興を中心に総額20兆円規模の需要が政府から創出されるため、確かに今年の実体経済活動には相応の効果をもたらします。しかし単年度限りの効用であって、あくまで本格的経済再生への地ならしと時間稼ぎだと考えるべきでしょう。

さて、アベノミクスの成否はこれから射られる「第三の矢」たる成長戦略がしっかり実行されて、日本の実体経済が自律的に活性するスパイラルを構築出来るか如何にかかっています。

それは新しい事業が生まれ育ち、産業活動が自由闊達に出来るための環境作りに向けて、その足枷になっている様々な規制緩和や自由化といった構造改革を矢継ぎ早に打ち出すことによって経済成長軌道を作り出すことですが、そうした成長軌道の継続的堅持に不可欠なのは、国内に眠っている余剰資金を新たな需要を創り富を生み出す方向に動かすこと、つまりお金と言う経済活動の血液を大量に送り込まなくてはなりません。

その血液たる役割が、私たち生活者の抱え込んでいる預貯金です。日本の生活者はGDPの1.7倍もの巨額な預貯金を持っており、これが銀行に永久凍土となって滞留しています。つまり血液の素はふんだんに存在しているわけです。これが「第四の矢」として働くかどうかで雌雄が決すると言っても過言ではありません。

アベノミクスを自分事に

日銀は「黒田バズーカ」を撃ち込んで、市中のお金の量を2年で2倍に増やすと宣言しました。これは単純に言えば、論理的には円の価値が半分になり、株価は倍になることを意味しています。このメッセージを私たち生活者は冷静に自分事として捉えなければいけません。

そしてアベノミクスで株が上がっているから儲けよう、ではなくアベノミクスの副作用に負けないために、更にはアベノミクスの目的を成就させるために、自らすぐに行動出来ることとして、ツンドラ預貯金を自らの意志で解凍させ長期投資マネーとして経済活動に投入すべき時です。

これは即ち実体経済の活動と成長を支える長期産業資金の供給であり、850兆円の預貯金はその方向に動き始めたら、米国のシェールエネルギー革命に匹敵する、或いはそれ以上のインパクトとなる日本のマネーエネルギー革命となるでしょう！長期投資が正義と誰もが認める時代の到来です。

(2013年5月2日記)

ゲストからの応援メッセージ

「アベノミクスに沸く今こそ、ツミタテ王子の出番」

株式会社角川マガジnz 第4編集部/新書・書籍編集グループ所属
メールマガジン『Daily MONEY JAPAN』編集長 辻森康人氏



セゾン投信の中野晴啓社長と初めてお会いしたのは、もう15年近く前。私が『レタスクラブお金の本』という女性向けマネー情報誌の編集部にいたころの話です。まだまだ「長期投資」という言葉が珍しい時代に、読者参加の投資倶楽部へのアドバイザーとしてご登場いただきました。生活者の視点を大事にされていた中野さんらしい連載だったと言えます。

その後、『マネープラス』という初心者向けマネー情報誌で、本格的に「積立投資」を取り上げるようになり、「長期投資」の大切さをわかりやすく説くアドバイザーとして、連載に、特集に大いに活躍いただきました。

『マネープラス』2007年8月号の投資信託特集では、中野さんのことを、“ツミタテ王子”と編集部で勝手に名付け、懐中時計を手に持った決めポーズの写真を撮らせていただくなど、無理をお願いしたこともありましたが（その節はすみませんでした！）。その後、ツミタテ王子として著書を出された中野さんですが、実はそのきっかけはこの特集だったのです。

当時、読者の皆さんから投資に関してよく受けた質問が、「投資を始めるには、いくら貯めればいいのか」「いつから始めればいいのか」「やはり勉強してからでないダメなのか」という投資に対する不安、焦りが感じられるものでした。しかし、中野さんの答えはいつもシンプル、そしてぶれませんでした。

「貯まるのを待たず、積立を利用して1日も早く運用をしてください」

資産形成は一日でできるものではありません。時間を味方に付けて長い時間をかけて増やしていくもの、自分の人生もお金も大きく育てる——これを実現できるのが長期投資の醍醐味でもあるのです。

2013年春。今、世の中はアベノミクスで沸いています。2012年末からの日経平均株価の急上昇を目にし、投資に興味を持つ人が増えています。中には、この動きに乗り遅れまい、と焦っている人もいることでしょう。でも、そんなときこそ、長期投資の精神が大切なのだと思います。株価だけを追いかけてその動きに振り回される。株価が下がれば、精神的にも不安定になります。そんな状態が本業に良い影響を与えとは思えません。

本業を持ちながら、投資の勉強をし、しかも勝ち続けることは大変なことです。しかし、長期投資を行うことで、そうした苦労や焦りから解放される。そして、本業である自分の仕事や、プライベートを充実させることができる——これが、中野さんがずっと訴えてこられたことだと思います。アベノミクスに乗り遅れたと焦りを感じている人には、今一度落ち着いて相場と向き合ってもらえればと思うのです。そう、今こそ、ツミタテ王子＝中野さんの出番なのです。

中野さんは、かつて『マネープラス』の特集インタビューでこんなことをおっしゃっています。「お店の料理でたとえるなら、私はコース料理でよいと思う。アラカルトで選びたいという考えを否定するつもりはないが、本業を持ちながら投資を行うのは大変なことだ」と。同じコース料理を選ぶなら、やはり腕のいいシェフの料理を味わいたいもの。つまり、本格的な長期投資を目指すファンドを選ぶということが大事になってきます。中野さんには、ぜひ、この“コース料理”の味をさらに極めていっていただきたい。

アベノミクスという、“上から”の景気回復への動き。これをうまく利用して、個別銘柄で儲けるという手段もあるでしょうし、それを否定するつもりはありません。しかし、本業をがんばりながら、投資でしっかりお金を増やすことができる——そんな選択肢があることを知っておきたい。そして、長期投資を行うことで、我々生活者は自らの意志で、経済を動かすことができるということを実感したいと思っています。それこそが本当の自己責任ではないでしょうか。

中野さん、いや、“ツミタテ王子”には、そんな自覚ある長期投資の仲間たちをこれからも力強く応援して行ってほしいと思います。

〈プロフィール〉

辻森康人（つじもり・やすと）

株式会社角川マガジズ 第4編集部／新書・書籍編集グループ所属、メールマガジン『Daily MONEY JAPAN』編集長、現職。

『レタスクラブお金の本』『マネープラス』『MONEY JAPAN』などのマネー情報誌の編集部を経て、現在は、角川 SSC 新書 (http://www.kadokawa.co.jp/book/series_33.html) などの書籍の編集をてがける。平日毎朝、無料配信の老舗マネー情報メディア『MONEY JAPAN』によるメールマガジン『Daily MONEY JAPAN』の発行も行っている。<http://archive.mag2.com/0000291231/index.html>

セミナー・イベント情報

当社主催、共催セミナーのスケジュール <セミナーレベル ★:入門 ★★:初級 ★★★:中級>

【東京】池袋		ここが肝心!「セゾン投信のファンド講座」スタートアップ編		
★	5月8日(水) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	奥山 勉(運用部アナリスト/日本証券アナリスト協会検定会員)
	毎回満員のセゾン投信オフ会。最新の商品説明編が登場します。当社のアナリストによる、2本のファンドの説明と質疑応答の1時間です。			
【東京】池袋		「ゼロからはじめる投資のキホン」~投資の初心者さん限定~		
★	5月23日(木) 19:00~20:00	セゾン投信会議室 (サンシャイン60・37F)	参加費 無料	瀬下 哲雄 (セゾン投信運用部ポートフォリオマネージャー)
	毎回、人気のセミナーです。投資をはじめる前に知っておきたいポイントを凝縮してお伝えします。日頃なかなか聞けない基本的なこと等も含めて皆様からの質問にしっかりお応えいたします。			
【東京】日本橋		「セゾン号」の長期投資入門 ~セゾン投信流長期運用とは?~		
★	5月26日(日) 14:30~16:30	TKPスター貸会議室 日本橋 第1会議室	参加費 無料	房前 督明氏(FCP代表) 中野 晴啓(セゾン投信社長)
	今月から新しくスタートする新シリーズ「セゾン号」の長期投資入門! 毎月開催中の初心者向けセミナー第3弾!これから長期投資を始めていただく方に向けた、長期投資の考え方と実践法を説明するセミナーです			
【東京】八重洲		草食投資隊プラス<特別編> スコット・キャロンさん(いちごアセットマネジメント社長)をお迎えして		
★	5月30日(木) 19:00~20:45	レオス・キャピタルワークス セミナールーム	《特別ゲスト》 スコット・キャロン氏(いちごアセットマネジメント社長) 《草食投資隊》 伊井 哲朗氏(コモンズ投信社長) 藤野 英人氏(レオス・キャピタルワークス取締役 CIO) 中野 晴啓(セゾン投信社長)	
		参加費 無料		
社名の「いちご」は、茶人の心構えである「一期一会」に由来しています。長期投資と「人との出会いを大切に」という精神で、お客様と信頼関係を築くことを目指されていて草食投資隊の活動とぴったりシンクロします。今回はキャロンさんと4人で、大いに長期投資を語ります。				
【北海道】札幌市		世界経済の大転換!セゾン流長期運用と日本版ISAについて		
★	5月31日(金) 19:00~20:30	かでの2.7 学習室A (北海道立道民活動センター)	参加費 無料	中野 晴啓(セゾン投信 社長)
	セゾン投信の国際分散投資が見据える長期投資の考え方について札幌の皆さんと共有する時間です。2014年1月から新たに始める日本版ISA(少額投資非課税制度)概要と留意点、そして活用術についてもお話いたします。			

【東京】青山		草食投資隊ワンコインゼミナールIN青山「初心者マークのゼロから学ぶ長期投資！」	
★	6月12日(水) 19:00~22:15 ※21時~懇親会	アーキテクトカフェ青山	《草食投資隊》 コモンズ投信会長 渋澤 健氏 レオス・キャピタルワークス取締役 CIO 藤野 英人氏 セゾン投信社長 中野 晴啓 《ファシリテーター》 ファイナンシャルプランナー 岩城 みずほさん
		参加費(懇親会費込) 3,000円 (セミナー500円+懇親会2,500円)	
<p>銀行預金さえしていればとりあえず老後は安泰という時代はもう終わり。これまで、学校でも社会に出てからも勉強する機会のなかった長期投資について、草食投資隊と一緒に学びませんか？ 今回は、外苑前徒歩3分、「青山アーキテクトカフェ」にてセミナーと懇親会を同時に開催します。落ち着いた雰囲気です。リラックスいただけるカフェで、ぜひ仲間の輪を広げてください。</p>			

詳細・お申込みは、ホームページ「セミナー情報」をご覧ください

<http://www.saison-am.co.jp/seminar/seminar.html>

お電話でのお問合せ セゾン投信お客様窓口

03-3988-8668(9:00~17:00、土日祝・年末年始を除く)



社員が講師として参加するセミナーのスケジュール

【東京】 日本橋		東洋経済新報社主催 特別セミナー「投資の常識の大転換が始まった」		
★	5月29日(水) 19:00~20:40	東洋経済新報社 9階 ホール	参加費※ 2,000円	澤上 篤人氏(さわかみ投信取締役会長) 中野 晴啓 (セゾン投信社長)
	<p>インフレの時代になったら、資産を減らさず、どうすればお金を増やすことができるのか。新たな「常識」が求められています。2人の講師によるそれぞれのテーマについての講演と質疑応答を含むパネルディスカッションの予定です ※参加特典として『週刊東洋経済』5週分を贈呈いたします。</p>			

今年度も開催されます！

+YOU

一人ひとりがニッポン経済

東京証券取引所が展開する、証券市場からニッポン経済を元気にしていくための活動「+YOU(プラス・ユー)」プロジェクト。今年度も、社長中野が講師として参加するキャラバンをご案内していきます。

日程	時間	都市	会場	最寄り駅
6月1日(土)	14:00~16:30	北海道札幌市	北海道自治労会館	札幌駅
6月2日(日)	14:00~15:30	北海道旭川市	道北経済センター	旭川駅

【お申込み・お問合せ】 詳しくはセゾン投信ホームページよりセミナー主催者へ、直接お問い合わせください。

セゾン投信からのお知らせ

日本版ISA(少額投資非課税制度)実施に伴う申込書セットの予約受付を開始いたしました。

2014年1月1日より実施予定の日本版ISA(少額投資非課税制度)／愛称;NISA(ニーサ)とは
個人投資家向けの税制優遇制度で、年間累積購入代金100万円までの証券投資の利子配当所得や譲渡益を非課税とするもので、英国のIndividual Savings Account(個人貯蓄口座)を参考にした制度であるため「日本

版ISA」と呼ばれています。投資信託や上場株式等から生じる所得への課税は、日本版ISA制度の導入にあわせ2014年1月より現在の10%から20%になる予定ですが、日本版ISAを利用することで、最大500万円までの投資から得られる値上がり益や配当・分配金が実質最長10年間非課税となります。

セゾン投信(株)は皆さまに本サービスのご提供を行うべく、準備を進めております。日本版ISA口座の開設方法等につきましては、随時HP・Eメール・メッセージ集等でご案内して参ります。

【日本版ISAの概要】

●日本版ISA口座を開設できる方

2014年に日本版ISA口座を開設する場合、2014年1月1日時点で、20歳以上の日本居住者

●非課税の対象

日本版ISA口座内で保有する上場株式や株式投資信託の配当所得、譲渡所得

●非課税投資枠

年間の累積購入代金100万円まで

※その年に使用しなかった非課税投資枠を翌年に繰り越せません。

※新規投資額が対象となるため現在保有している株式や投資信託を日本版ISA口座に移すことはできません。

●非課税となる期間

投資をはじめた年を含めて5年後の12月末まで

●非課税投資総額

最大500万円(100万円×5年間)

●制度継続期間

非課税口座を開設することができる期間は2014年～2023年までの10年間

詳しくはホームページより、<http://www.saison-am.co.jp/isa/index.html> をご覧ください。

【メディア掲載情報】 <http://www.saison-am.co.jp/company/media.html>

・2013年4月8日:マイナビニュース ライフ

セゾン投信の運用資産総額が700億円突破―「日本版ISA」口座の提供も準備中、の記事が掲載されました。

・2013年4月8日:オールアバウトマネー に運用資産700億円突破とセゾン投信についての記事が掲載されました。 ―「資産流入が続いているファンドは評価できる」

・2013年4月12日:東洋経済オンライン

<インフレに勝つ資産育成法「草食投資隊」をフォローせよ>

第3回目のテーマは、円を売ってユーロを買う選択肢は「あり」です。

【買付・解約 受付不可日のお知らせ】(2013年5月7日～6月末日)

下記は2013年5月7日現在の当社取扱いファンドの休日(海外休日等)の情報です。当該海外休日等は日本の営業日の場合でも、信託約款に定める申込不可日としてご注文を受付することができません。当該海外休日等にいただいたご注文は、「翌営業日」を注文日として承ります。

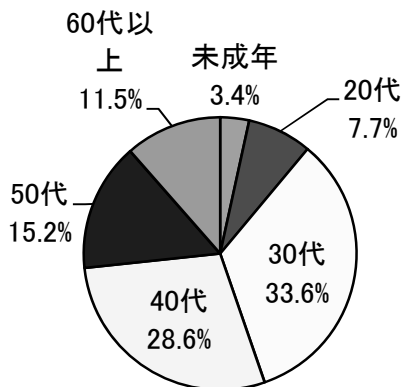
セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド	5月27日(月)、6月3日(月)
セゾン資産形成の達人ファンド	5月27日(月)、6月3日(月)

上記は信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、その正確さや完全さに対する責任を当社が負うものではありません。各地の休業日は都合により変更されることがあり、上記もこれを反映すべく予告なしに変更される場合がありますので予めご了承下さい。

お客さまデータ

セゾン投信 会員数 57,681 口座
(2013年4月30日現在)

年代別比率



※2013年4月30日現在

今月の注目記事

アベノミクス、黒田バズーカ等々の経済新語の話題の中で、投資信託の情報ポータル『投信まとなび』より、ニュースの基本となるデータの見方をご紹介します。国際分散投資には欠かせないデータの一面です。

『投信まとなび』 <http://www.matonavi.jp/>

イボットソン・ニュース

TOP > イボットソン・ニュース > 記事

【週刊マーケット・データ・シート】

先週の主要マーケットの収益率(先週末基準)と4資産分散投資の収益率(前月末基準)が、こちらのリンクからPDFでご覧になれます。

<http://www.matonavi.jp/news/1015>

*こちらの情報は、イボットソン・アソシエイツ・ジャパン株式会社の許可のもとに公開しております。

セゾン投信の素顔

「国内旅行」

先日、群馬県にある伊香保温泉に初めて行ってまいりました。観光名所の石段街や榛名湖など時間の許す限りウロウロと楽しい時間を過ごすことができ、リフレッシュするのに最適でした。最近ではあまり見なくなった昔懐かしい温泉街といった感じで、雰囲気満点な癒し空間でした。

ここ数年は海外旅行に目を向けがちでしたが、国内も素敵な場所が沢山ある事を思い出させる旅行になりました。

顧客サービス部 北里 円

「NISA (ニーサ)」

2014年に開始される少額投資非課税制度(日本版ISA)の愛称が「NISA (ニーサ)」に決まりました。愛称としての評価の良し悪しはまだわかりませんが、普及してこの“格好いい”響きが、大勢の方に制度を知っていただけるキッカケになるといいなと思っています。当社でも“NISA”の提供のための準備を開始しました。非課税の仕組みや、当社の商品を活用した利用方法など、わかりやすくお伝えし、サービスをご提供していきたいと考えております。

是非、これからご注目をお願いします。

顧客サービス部 市本 宏

編集後記

東京近郊は既に木々の緑も鮮やかに、ここ数日は半袖が相応しい初夏を感じましたが、ニュースでは、北海道がゴールデンウィーク中に積雪を記録するという話題に、改めて南北に長い国土を感じています。一方では、アベノミクス、黒田バズーカ、NISA等、株式・為替を中心とした市況はこの数か月で、私たちを取り巻く環境が大きく変化していることを多くの方が実感していらっしゃるでしょう。まるで長い雪解けから、春を感じる季節がやってきた、とのんびり感じているのは私だけでしょうか。このところ急変する市場環境に一喜一憂することなく、大らかに『いそがないで歩こう』と、これまで同様にセゾン投信をご支援いただけますよう、お願い致します。

セゾン投信、Facebook「いいね！」受付中。

<http://www.facebook.com/saisonam>

